

## 事業計画

平成 30 年度

社会福祉法人原町成年寮

サザンクロスかつしか

## 1, 支援方針

『利用者一人一人の幸せに貢献する』

『利用者を一人の人間として尊重する』

## 2, 支援目標

個別支援計画を中心に据え、利用者 101 名の幸せな地域生活を支える。

## 3, 今年度取り組む課題

### (1) 高齢化対策

#### ① 高齢利用者の支援の在り方模索

1) 利用者ひとりひとりのそれまでの人生を踏まえた上で、現在のライフステージに相応しい支援を考える。

<考えられる課題>

1) 健康（病気と怪我）のリスクの把握とその対応

2) 精神面や身体面の急激な変化（認知症も含む）への対応

3) 日中活動の見直し

4) 相応しい住環境の検討

5) 他サービスの活用とケアマネジメント

6) 高齢期を迎える前の壮年期および中年期における、将来を見据えた支援のあり方

2) 終末期を意識した、個別支援計画の作成。

3) ケアマネと介護事業所との連携

② 高齢化対策委員会と連携して、今後の生活の場を提案する。

③ ダウン症の早期のアルツマイマーに対応するために、ダウン症利用者の頭部CTの実施。

④ <先見事例の見学>

特定非営利活動法人このゆびとーまれ（富山県富山市）共生型 GH、デイケア

社会福祉法人北摂杉の子会（大阪市高槻市）自閉症の高齢化

### (2) 自閉症支援

#### ① 通所施設との連携

1) 規則正しい生活をつながるプログラムが提供できるよう、シャイン、奥戸福祉館と協力体制を取る。

2) 働くことに誇りを持つよう、配慮する。

② 共通言語を作る

応用行動分析学を中心に据えて、各研修に参加する。

1) 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

2) 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

3) 行動援護従事者養成研修

(3) 個別支援の充実～自ら課題を見つけ、解決できるチーム作り～

#### ① ミーティング

1) 平日毎朝 11 時より、各チーム合同で、宿直者による申し送りを援助センターで行い、情報の共有に努める。可能な限り、所長が同席し、スーパーバイズを行い、できるだけ問題を早く解決する。

2) 各チームのミーティングは、午後に行い、チームの引き継ぎの他、午前中の申し送りを確認する。

#### ② 会議の効率化

##### 1) 全体会議

全体会議の実施は、最小限にとどめ、各チームの支援会議の時間の確保に努める。年 4 回実施。

連絡事項は、ミーティングとサービス管理責任者会議から、各チームに申し送りをする。

<全体会議の予定>

4月26日（木）	全体会議／内部監査	10:00～17:00
5月24日（木）	全体会議／内部研修（虐待防止）	13:00～14:30
6月28日（木）	全体会議／内部研修（権利擁護）	13:00～14:30
7月26日（木）	全体会議／内部研修（権利擁護）	13:00～14:30

8月23日(木)	中間モニタリング検討日	各チーム調整
9月27日(木)	中間モニタリング検討日	各チーム調整
10月25日(木)	全体会議/内部監査	10:00~17:00
11月22日(木)	総括・個別支援計画検討日①	各チーム調整
12月20日(木)	総括・個別支援計画検討日②	各チーム調整
1月24日(木)	総括・個別支援計画検討日③	各チーム調整
2月28日(木)	総括・個別支援計画検討日④	各チーム調整
3月28日(木)	全体会議(サザンクロス事業計画)	13:00~14:00

## 2) サービス管理責任者会議

各チーム間の連絡調整、困難事例、懸案事項の検討、リスクマネジメント委員会・虐待防止委員会を兼ねる。所長、各チーム主任およびチームリーダーが出席。月1回、第2火曜日実施。

4月4日(水)	13:30~14:30	10月3日(水)	13:30~14:30
5月9日(水)	13:30~14:30	11月7日(水)	13:30~14:30
6月6日(水)	13:30~14:30	12月5日(水)	13:30~14:30
7月11日(水)	13:30~14:30	1月9日(水)	13:30~14:30
8月8日(火)	13:30~14:30	2月6日(水)	13:30~14:30
9月5日(水)	13:30~14:30	3月6日(水)	13:30~14:30

## 3) 支援会議

各支援チームで、月1~2回の支援会議をおこなう。リスクマネジメントの検証もおこなう。

周知検討事項の他、個別支援計画の策定、検討の場とする。

### (3) 預かり金の管理システムの充実及び構築

- ① 通帳・印鑑の主任・サビ管管理
- ② 個別会計管理ケースの施錠化
- ③ チーム内監査の実施(年2回)
- ④ 内部監査の実施(年2回)
- ⑤ より安全な預り金管理の模索

## 4, 研修

### (1) 内部研修

- ① 虐待防止 5月24日(木)
- ② 権利擁護 6月28日(木)・7月26日(木)

### (2) 外部研修※詳細別紙参照

- ① SDS(Self Development System 自己啓発援助制度)を採用し、自発的な研修参加。
- ② サービス管理責任者会議からの指名。
- ③ 計画的な施設見学

### (3) 資格取得研修

- ① 移動支援従事者
- ② 行動援護従事者

### (4) OJT研修

新人職員に、目指すべき目標を提示し、終了時に評価する。OJT担当を指名、3ヶ月間設定し、主に最初の1ヶ月間を重点的に実施する。